

とやますきっず～絆を深めるワクワク教科書～

富山市青年元気塾第8期生

加藤、河波、君塚、黒川、宝田、土肥、中橋、見上、山藤

1 はじめに

今年度の富山市青年元気塾のテーマは、「富山のエンジン～青年がつなぐ地域の絆～」です。昨今メディア等でよく“地域の絆”という言葉を目にしますが、「“地域の絆”とは具体的に何だと思えますか。」と尋ねられた時に、自信を持って即答できる人は多くないのではないのでしょうか。

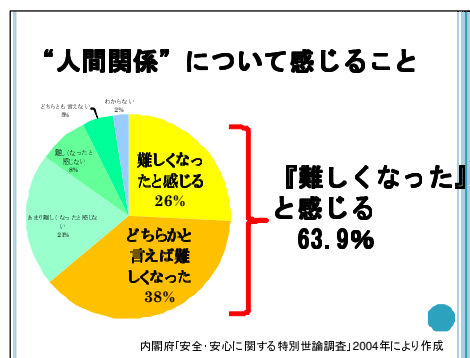
私たちのグループの考える“地域の絆”とは、地域社会を構成するひとつひとつの家庭の中での絆がキーだと考えます。各家庭内での家族の絆が深まることで、必然的に“地域の絆”が生まれるのではないのでしょうか。

内閣府が行った世論調査の結果によれば、「人間関係についてどう感じるか」という問いに対し、最も多かったのは「難しくなった」という答えでした。その主な理由の中でも「地域のつながりの希薄化」と「核家族化」が取り上げるべき問題点だと私たちは考えます。

そこで、“地域の絆”のキーとなる家庭内での絆を深める為に、私たちは『富山の魅力の詰まったわくわく教科書』を作成しました。ネーミングからも分かる様に、教科書といっても分厚い参考書という固いイメージではなく、ターゲットを小学生に絞り、彼らに馴染みやすい内容で作成しました。

小学生（子ども）がこの教科書を読み、富山の魅力についての話題や思い出を家族と共有することで絆が深まります。そして、富山の魅力を知り富山が大好きな小学生、つまり**くとやますきっず**が増えることが私たちの狙いです。

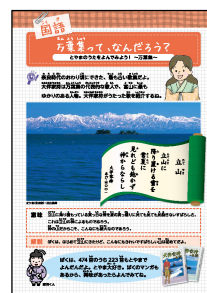
教科書は、国語・社会・理科・美術・体育・家庭科の6教科から成り、それぞれA41ページずつにまとめました。富山の小学生が富山のことを知り、自分の住むまちをもっと好きになってほしい、そして、読むだけでなく家族と一緒にその場所へ出かけてもらいたいと思います。資料を基にまとめた内容から、実際に取材に伺いまとめた内容まで、興味深い教科書になっています。また小学生が楽しめるようイラストや写真を多く取り入れ、読みやすい紙面に仕上げました。それでは、実際の教科書の内容を紙面のタイトルとともに紹介します。



2 「小学生」向けの「富山の教科書」

- ・国語 ～万葉集って、なんだろう？～

国語では、富山の素晴らしさについて歌う大伴家持の「万葉集」をひとつ紹介しています。紙面では、歌のイメージが分かる立山の写真を使用し、分かりやすい言葉で歌の意味を解説しています。ここでは、富山を歌った古い歌集「万葉集」に興味を持ってもらい、さらに興味を持った小学生が詳しく学べるよう、大伴家持の漫画も最後に紹介しています。



- ・社会 ～売薬さんって、どんなひと？～

社会では、実際に池田屋安兵衛商店へ取材に行き、その情報を紙面に多く取り入れました。富山が「売薬さん」で有名になった理由、「富山の薬のトリビア」など意外と知られていない情報を載せることで、興味を引き出す内容になっています。



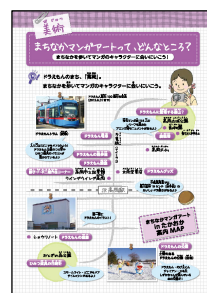
- ・理科 ～ホタルイカって、なんで光るの？～

理科では、「ホタルイカが光る秘密」を多様なイラストを用い可愛らしく解説しています。富山では青く光ったホタルイカは有名ですが、光る理由については大人でも意外と知らないことが多いのではないのでしょうか。富山を代表する生き物の仕組み、ぜひそれを小学生の時から知ってもらいたい、そのような願いを込めてホタルイカを題材に作成しました。



- ・美術 ～まちなかマンガアートって、どんなところ？～

美術では、「まちなかマンガアートin高岡」と題して、ドラえもんの街「高岡市」を紹介しています。高岡市にあるドラえもんスポットを写真入りのマップで表現しています。紙面に大きく写真入りの地図を載せることで、実際に小学生が歩いて出かけたなと思ってもらえる楽しいイメージの教科書に仕上げました。



- ・体育 ～ビーチボールって、どんなスポーツ？～

体育では、朝日町で生まれたスポーツ「ビーチボール」を紹介しています。富山でビーチボールが生まれた理由やスポーツの特徴についてイラストを中心にまとめています。富山生まれの気軽なスポーツとして、家族や友達と楽しんでもらいたい、そのような願いを込めてビーチボールを題材に作成しました。



・家庭科 ～富山はかまぼこ王国って知ってた？～

家庭科では、写真を多く用いて様々な種類のかまぼこを紹介しています。渦巻状の「昆布巻きかまぼこ」や結婚式の「細工かまぼこ」、さらには新しく登場した可愛くて面白いかまぼこまで、目で見て楽しめるような鮮やかな紙面に仕上げました。終わりには、かまぼこづくりが体験できるU-me i 館についても紹介し、小学生が興味を持ち実際に体験したいと思ってもらえるような内容に仕上げました。



3 教科書を小学生に配布し、〈とやますきっず〉を増やすことの効果

- ① 絆の希薄化を解決する。
- ② 家庭内で富山の良さを共有でき、次世代の子どもたちに伝承してける。

富山の教科書によって、まずは小学生に富山のよいところを知ってもらい、興味を持ってもらうことが重要です。教科書には、富山の良い所がたくさん紹介されています。教科書を読むことで〈とやますきっず〉が増えれば、「お父さん、お母さん、教科書に載っているこの場所に行ってみたいな。これも体験してみたいな」、そんな会話がある家庭が増えると思います。そして〈とやますきっず〉と家族が一緒になって富山の良い所に訪れ、富山の良さに触れてもらうことで家族の絆が深まっていくと思います。

また、小学生の頃から富山の良さについて知っておくことで、今度は彼らが大人になった時に、自分の子どもを富山の良い所に連れて行ってあげて、「富山はこんな良い所なんだよ」と子どもに伝えてあげることができます。将来的にこういった習慣が続けば、富山の良さは引き継がれていくと思いますし、家族の絆も深められます。

4 おわりに

私たち教科書グループでは、他のグループとは少し異なった視点で企画に取り組みました。ターゲットは「小学生」とし、今の時代にとってはどこか古めかしくも、しかし小学生にとっては肌身離さず、馴染みの深い「教科書」を参考に考えてみました。企画会議の初期の段階では、なかなか方向性も決まらず苦労はしましたが、終わってみると教科書という形のあるものを残せて、グループ一同満足した企画ができたと思っています。今年度の元気塾のテーマ「富山のエンジン！」



～青年がつなぐ地域の絆～のもと、〈とやますきっず〉が現在、そして未来の富山のエンジンとなり、絆の希薄化という問題を解決していくきっかけになることを願っています。